

2000年5月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、極渦は北極海のカナダ北岸に位置していた。極付近とグリーンランドは負偏差で、ロシア西部からシベリア西部にかけてと太平洋の中緯度帯からカナダも顕著な負偏差となった。その他は正偏差の領域が多く、特にバイカル湖からオホーツク海、ベーリング海とヨーロッパが顕著だった。亜熱帯ジェットは中央アジアからチベット周辺では季節進行に伴う北へのシフトが平年より早く、強さも平年より強かった。逆に東アジアから太平洋域では平年より南偏しており、太平洋東部で平年より強かった。また、大西洋上でも西風は平年より強かった。

850 hPa 高度および風ベクトル分布図によると、西・中部太平洋では赤道を挟んで南北に高気圧性偏差循環が存在し、赤道域は東風偏差が卓越した。東部太平洋赤道域では、5°N 付近は弱い西風偏差、5°S 付近は弱い東風偏差が分布した。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図を見ると、大規模発散域の中心はフィリピンの西とニューギニアの北の2か所に分かれて見られ、平年に比べてそれぞれ約

30度西北西偏、10度西偏していた。

SOI (南方振動指数) は+0.3で平年値に近づいた。

世界の天候

①西シベリアの多雨

②東アジアから中東の高温

中国のヤンアン (延安) で20.8°C (+3.6°C)。

③西日本から中国南部の少雨

中国のチョンチン (重慶) で0 mm (平年87.3 mm)。中国では広範囲で深刻な干ばつとなったと報じられた。

④インドシナ半島からインドの低温

⑤ロシア西部の低温

⑥ヨーロッパ北部・西部の多雨

⑦ヨーロッパの高温

⑧ヨーロッパ東部の少雨

ルーマニアのヤシで8 mm (13%)。ポーランドやルーマニアでは森林火災や干ばつの被害が伝えられた。

⑨カナダ南部から米国北部の多雨

⑩米国南部の高温・少雨

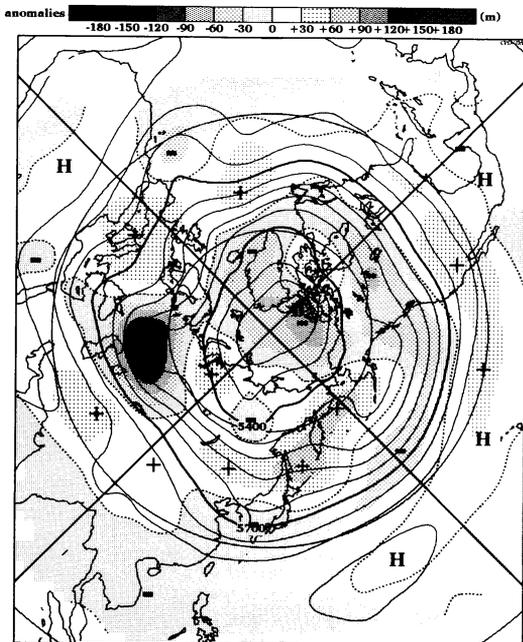
米国南部のエルパソで26.2°C (+4.0°C)。米国南部やメキシコでは森林火災や干ばつの被害が伝えられた。

⑪チリ北部からアルゼンチン北部の多雨

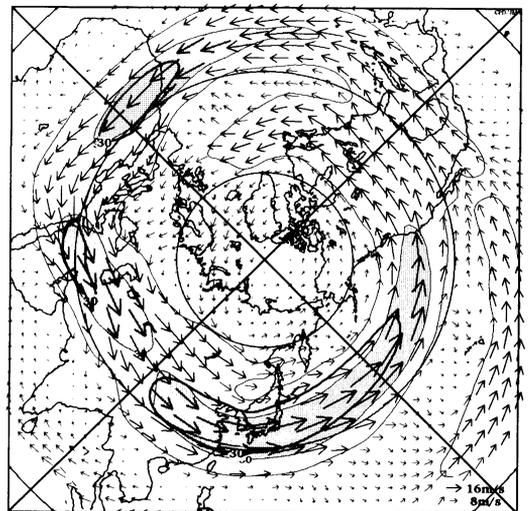
⑫ポリネシア北部からミクロネシア東部の少雨

⑬オーストラリア西部の低温

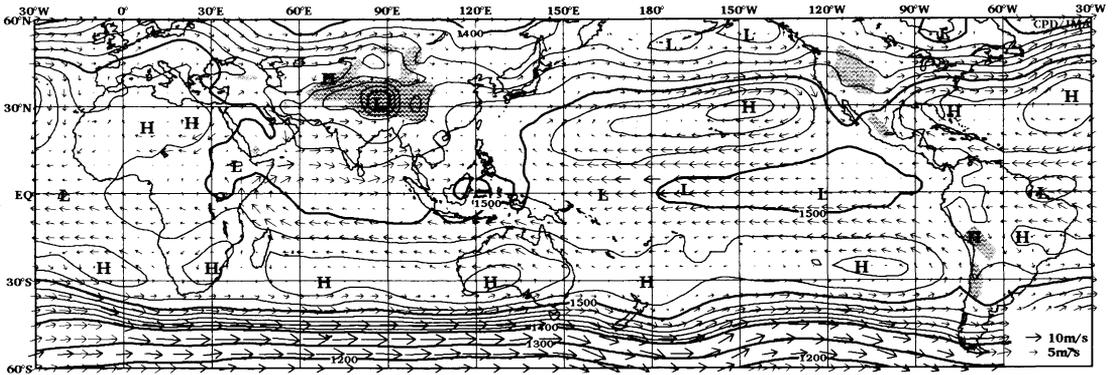
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 西潟政宣)



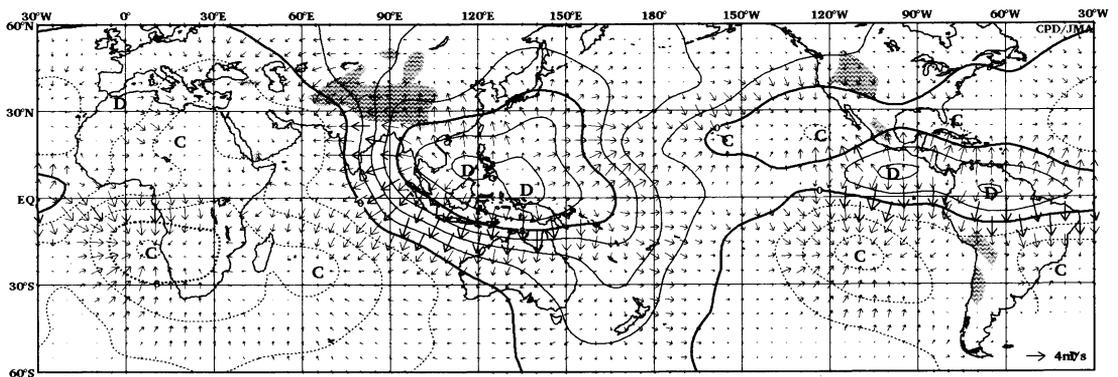
2000年5月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m. 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



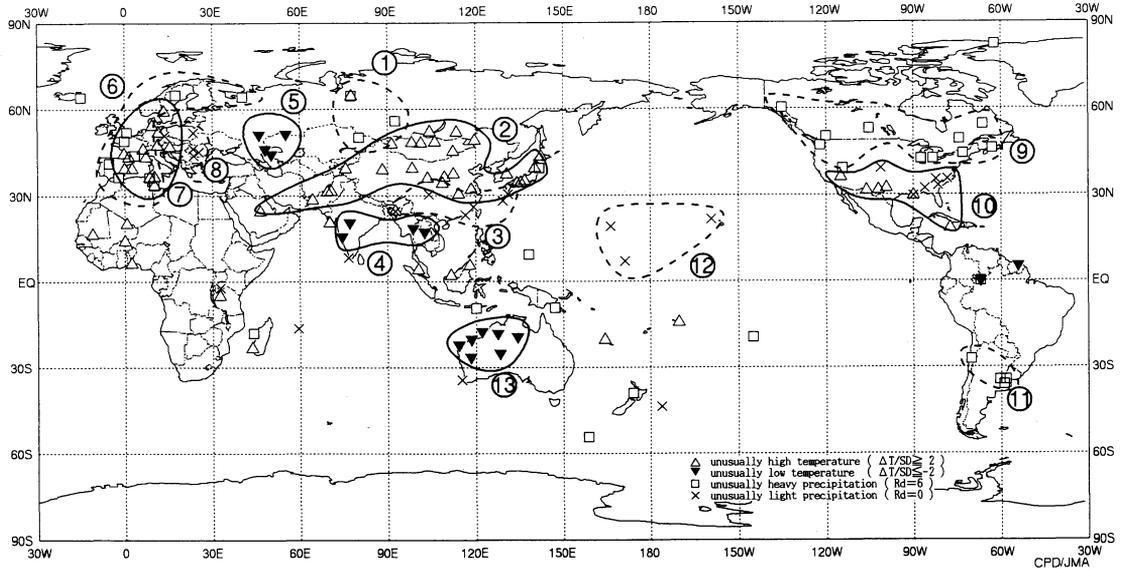
2000年5月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は平年で40 m/s以上。平年値は1979~1996年のデータに基づくもの。



2000年5月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2000年5月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2000年5月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.